





# 覗いてみよう だいご学園!

## 製造

ちなみに

◀週1回買うレベルで焼きドーナツが大好物の筆者が何個かいただけてウキウキ。



▲パン工場のようす。季節・気温・湿度に応じて、肌感覚を頼りに製造されています。微細な判断が必要な作業です。

## CAFE&SHOP ふらっと



▲イメージキャラクター・ハッピーキュン(右)とゆめちゃん(左)が描かれた、ふらっとのシンボルマーク。

住所 :〒601-1344  
京都市伏見区醍醐辰巳町7-1  
TEL : 075-571-7216  
(京都市だいご学園共通)  
営業日時: 月~金曜日  
9:00~16:00 (L.O. 15:30)

電話予約がおすすめ!



▲店内のようす。ドーナツやパンが並べられています。



▲モーニングやランチをいただくことができます。美味しいそう。

2018年にオープンしたカフェ。子どもからお年寄りまで、障害があってもなくても「ふらっと」気軽に訪れてほしいという願いが込められています。



▶ブックエンドを活用した支援ツール。アイスコーヒーの量り方が視覚的に認識できるようになっています。

はみだし  
すてーじ

最近よく虫に遭遇します……(しかも室内)  
⇒わかります。バイト先の店内で大きめの芋虫が伸び縮みして歩いていたときは恐怖でした……

(文・1 梅ゆき)  
(ほんまにやめてほしい;編)

利用者や職員の皆さんはだいご学園で  
いったいどのようなお仕事をしているので  
しょうか……? 少し覗いてみましょう!

パン類や菓子類の製造のほかに、箱折  
や検品、商品の包装の流れ作業を主におこなっています。周囲が気になって作業  
に集中しにくい利用者さんは、ほかの人の  
視線から遮られた小作業室で作業をする  
工夫がなされています。

## 軽作業

ちなみに

新型コロナウイルス  
感染拡大をきっかけに、  
分散休憩をとる工夫を  
施しています。お昼ご  
飯を食べたり、お茶を  
飲んで休憩したり。

▶食堂のようす。利用  
者さんの数が設立当時  
より大幅に増えたため、  
1度の利用人数を分散  
しないと入らないそう。

## 食堂



▲レターセットの枚  
数を数えて、袋に入  
れます。



▲防災グッズの入れの紐を通すようす。  
器用さが必要な難しい作業。



▲そして、レターセットの入った袋に  
シールを貼ります。

## 高齢者 施設

高齢者施設での配  
膳、下膳や共有部分  
の清掃も積極的にお  
こなっています。



## 清掃活動

紅葉シーズンになると落  
葉で覆われてしまう遊歩道  
や、参拝客がたくさん訪れる  
シーズンのお寺の清掃活  
動をしています。



月1回、余暇を楽しむプログラ  
ム。利用者さんにアンケートをと  
って内容が決められています。

## 余暇支援

「1対1でヘルパーさん  
と出かけたことはあるけ  
ど、一緒に働く仲間とも  
出かけて楽しい時間を共  
有したい。」そんな声にお  
応えました!



▲余暇支援でおこなったボウリン  
グの際の写真。楽しそう。

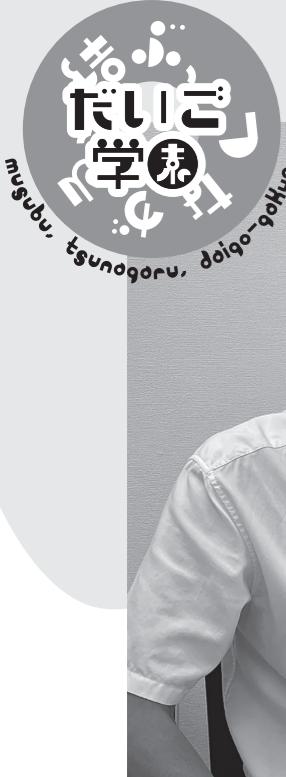
## そのほか

だいご学園を飛び出した活動も。利  
用者さんや職員さんどうしの仲の良さ  
が伝わります。

はみだし  
すてーじ

読書は苦手ですが、読書の秋ということで、まずはカフカの変身を読んでます(10月現在)。  
⇒虫になるやつですね! 自分の身にもしここったら、と想像したら本当に怖い

(文・1 飲むヨーグルト)  
(無事読み終わりましたか?;編)

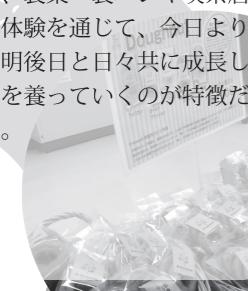


# 京都市だいご学園園長 谷口 隆之さん

まず、京都市だいご学園の事業内容について教えてください。

京都市だいご学園は、社会福祉法人京都障害者福祉センターという法人が運営している事業所の1つです。現在は計40名の利用登録があり、知的障害の方がたくさん通所されています。

だいご学園では「就労移行支援事業」と「就労継続支援B型事業」の事業運営をおこなっています。「就労移行支援事業」とは、一般企業等に就職するための支援をおこなう事業。それに対し「就労継続支援B型事業」はだいご学園を職場として働き続ける支援をおこなう事業です。最近はさまざまな民間企業が障害福祉事業に参入されており、利用者の方がビジネスマナーを習得できるように訓練する事業所もあります。これに対して、だいご学園では、製菓・製パンや喫茶店などといった実体験を通じて、今日より明日、明日より明後日と日々共に成長しながら、働く力を養っていくのが特徴だと思っています。



どのような経緯で、京大生協での販売に至ったのですか。

設立当時の2003年には、スーパー・マーケット向けにパックドーナツを製造していました。しかし薄利多売の事業ですので、利益が全然なかった時代が続いていました。

2011年前後から、ミスター・ドーナツさんと同じドーナツの製造機器を導入したことで、さまざまな形のドーナツが作れるようになりました。同時に製粉や油もリニューアルして、品質がかなり向上しました。それを踏まえ、「5個入って100円」のような単価を抑えた従来の取引は難しくなってきたため、新たに大学生協を中心とした営業活動を始めました。さまざまな取引先を開拓していく中で、やはり日本最高峰の京都大学にある、京大生協さんとお取引できないかなと思っていたんですが、敷居が高すぎて。そのときまた、関係者の中に、京大生協に勤められている方と知り合いの方がいて。その方を介して相談を始めてきました。その後、京大生協さんに向けてプレゼンをおこなったりして、2015年4月にお取引を開始することができました。

京大生協ではどのような商品が販売されているのですか。

京大生協さんでお取引させていただいているのは基本的に菓子類のみです。ただ、パン類の中で「メロワッサン」だけは入り込ませていただいております(笑)。

また、テスト期間に京大オリジナル商品が作れないかと京大生協の方からご相談いただいた際に、「単位クッキー」も販売させていただいております。

脳を活性化させるような成分を使っていて、「頭くなるかも!」というような位置づけで謳っています。実はこのロゴ、私がデザインさせてもらったんですけど、京大さんのクスノキのロゴを真似てるんですよね(笑)。テスト期間限定なんですが、おかげさまで単位クッキーをお買い求めいただく方が本当にたくさんいて、毎回ほぼ売り切れているんじゃないかなと思っています。単位クッキーは、ほかの大学生協さんでは販売されていません。完全に京大生協オリジナルの商品です。



▲単位クッキー。毎年7月と1月に生協ショップで販売される。



## 地域の人々を結ぶ、利用者の方々をつなげる、そんな場所であるために

だいご学園の地域的なつながりについて教えてください。

だいご学園のある醍醐地域は、福祉教育機関が非常に整っています。だいご学園が地域住民の中の関わりの1つとして機能していて、周りの機関や地域住民と学園の利用者さんが関わりを持っている実感があります。

だいご学園の取り組みとしては、まず1つに「ふらっと相談Cafe」を開催しています。いきいき市民活動センターの方に来ていただいて、地域住民の方の相談に乗っていただく場を設けています。また、介護予防という形で、高齢者の方に向けた健康体操をおこなっていました。ほかには、スーパーが遠くで買い物に困っている方々のために、駐車場をお貸しして、京都生協さんに移動販売に来てもらっています。

最後に、だいご学園が目指している像、そして昨今の福祉的な課題について教えてください。

私たちが目指しているのは、かっこよく言えば「コミュニティブリッジ」という役割です。要は、「ふらっとに行けば何かがあるぞ」「困りごと聞いてくれるんちゃうか」みたいな位置づけになりたいと思っています。いろんな人の力や助けを得ながら、私たちなりに地域の役に立てるような役割を担わせてもらいたいなと思っています。

また、最近の福祉施設のサービスが良くも悪くも多様化してきて、利用者さんの力自体を過剰サービスで奪っているところがあるんですね。具体的には放課後等デイサービスの送迎があったり。以前は、障害のある人が自力でバスや電車を使って事業所に通わなかんかったのが、今では送迎つきサービスに慣れた生徒さ

んがどんどん育っていって。学校を卒業したあと、送迎つきサービスがあるところしか選ばれなくなりつつあるんですね。でもそれって、障害がある人本人の人生を考えた時に、本当の意味での自立が促進されているのかどうかっていう問題が生まれてしまう。また、過剰なお客様至上主義が利用者さんを金儲けのために囲っている感じがしています。利用者さんが過剰サービスに慣れすぎて、IADL(※日常生活動作(ADL)よりも高度な生活動作)が、本来身につく段階のときに身につかないというのを課題として感じていたりします。

利用者さんにちょっとでも自分の人生を選んでほしいので、嫌なことは嫌って言う力とか、理想を持てる力とか、そのような意思決定力や自己決定力を育むことが今後ますます重要になっていくと思っています。

ありがとうございました。

今後の希望や、展望について教えてください。

現在、月・水の週2回納品なので、もう少し納品の回数が増えれば良いなと思っています。「できたらその日に食べてもらいたい」というのもあって、週3回くらいで入って来てくれる、より多くの方にご利用いただけるかなと感じていて。できるだけたくさん並べられるように頑張りたいです。

だいご学園の利用者の方や商品に対して、どのような印象がありますか。

だいご学園の職員の方と利用者の方が、店舗まで一緒に来て納品してくださるので、「この人たちが作ってくれたんだな」というのを私たち生協職員が実感できます。また、利用者の方の就労を支援するきっかけを商品を通して提供できているのは、良いことだと思っています。

時計台ショッップで扱っているだいご学園の商品(抜粋)

- ・抹茶ファッショ
- ・オールドファッショ
- ・もっちりング
- ・トッピングドーナツ
- ・チョコトッピングドーナツ
- ・焼きドーナツ
- ・パイ
- ・マフィンケーキ
- ・イーストドーナツ
- ・メロワッサン .....etc.



はみだし  
すてーじ

京都を離れる日も近くなつた。らいふすてーじともそろそろお別れ。  
⇒読者カードを何度も送ってくださいありがとうございました!

(WebページのBACKNUMBERを見て、いつでも戻って来てくださいね;編)